

文部科学省
フリースクール等に関する検討会議
資料

特定非営利活動法人
教育活動総合サポートセンター概要

事務局長
本告 一生

いきいきとした活動を目指して

(3)問題行動を予防することを主としている事業

各子どもサポートの特色

	子どもサポート宮ノ下	子どもサポート南野川	子どもサポート旭町
事業主体	サポートセンター	宮前区役所包括的なこども子育て支援事業(業務委託)	川崎区役所思春期問題対策事業(業務委託)
設置年月	平成16年4月	平成21年4月	平成22年4月
対象児童生徒	原則として、不登校の状態にある小中学生、発達上の課題がある児童生徒等	宮前区の不登校、ひきこもり児童生徒	不登校及び学校に行けないまま卒業し、環境適応に課題がある子供
開催曜日・時間	月～金 午前9時～午後6時 週2回、1回あたり60分程度、2教科	火水木金の週4日 午前9時から午後4時まで	週3回、月・木・金 午前10時～午後4時まで
学習支援の形態	心のケアを図りながらの1対1での学習支援	個別もしくはグループによる学習支援 野菜作りや調理などの体験活動	指導員が一人一人の希望にそって相談のりながら学習を進める。
居場所づくり	・安心して過ごせる環境を整える ・学習支援担当者とくつろげる場をつくる ・ふれあい体験活動への参加	・居場所の提供、 ・卓球などの軽スポーツやくつろげる場の提供 ・ふれあい体験活動への参加	・フリースペースでくつろぐ ・卓球などのスポーツ ・ふれあい体験活動への参加 ・親子で通所可

「こどもサポート東小倉」における
日本語指導の取り組み

2012年から

日本語を母語としない
外国につながる子どもたち



- 居場所づくり
- 日本語の習得
- 学習の遅れを補う
- 保護者の相談の場



川崎市立東小倉小学校 多目的教室
毎週水曜日 15:30~17:30

図

学習支援・居場所づくり事業

生活保護家庭の子ども



学習支援
居場所づくり



自立



川崎・幸・宮前の3地区
週2回（学習場所により曜日は異なる）
時間 18時~21時
形態 指導者と生徒の1対1の個別指導

研究全体の構想

学習を基盤とした寄り添う関わりを通して



子たちに力を！



文部フリースクール等に関する検討会議
資料

学習支援の実際

NPO法人教育活動総合サポートセンター

片山 田鶴子

2

1) 相談・面談

- ・子どもの状態の確認
- ・不登校の状態
- ・発達上の課題
- ・学力不振 等

※ その他、家庭の状況等子の背景

3

2) 学習支援の申請

学習活動申込書

◎子が自ら申込書に記入する

・原則週2回、1回1時間

※学習したい教科

※希望の学習日

※希望の時間

4

3) 学習部との調整

※学習担当者の決定・連絡

※学習時間(曜日・時間)の決定日



保護者・本人に通知

(P28)

1) チェックシートによる児童生徒理解

○開始時期・定着期に実施

<その1>

◎子供の困っている状態

第1群(学習)～第6群(いじめ)

<その2>

◎子供の発達上の課題

第1群(学習)～第6群(状況理解の困難さ)

※開始時期と定着期の子供の変容

※個別支援計画の見直し等

2) 個別支援計画の作成

(P33)

<相談担当者> 初回面接時等の把握状況から

①支援開始時の子供の課題

②支援方針



<学習担当者> 1対1の学習の中で支援課程の記入

○開始時期の学習状況

○学習計画

*開始時期のチェックシートも加味する

*学習・相談記録に記入

一定期間後

支援課程における状況を記入する(成果は○, 課題は●)

※相談者と学習者が情報を共有し互いに連携して
子供の支援を行う

個別支援計画

対象支援児童生徒氏名	性別 ()	〇〇市立中学校3年
<支援課題> 平成25年10月時点 (相談担当者)		[今年度の支援方針] 平成27年4月現在 (相談担当者)
学習担当 (教科等) 英語 国語		
支援課程 (学習担当による記録)		
内容 (教科名) ・英語	今年度開始期(子供の状態・学習計画等) ・ ・ 支援課程における状況 (成果○と課題等) ○ ●	

3)「学習相談の記録」

3)「学習相談の記録」
平成26年度 学習・相談記録簿

児童・生徒氏名 _____ (A)登支 (B)特支 (C)学支
教科名 _____ () _____ () _____ ()
指導者名 _____ () _____ () _____ ()

月/日	学習内容	児童生徒の様子・心のケア・相談等
3/26	・正の数・負の数 (+)・(-)の概念・計算 (-) 符号の理解が不十分。 数直線を使って理解を深める。	・元気に来所。「よく来たねー」という とはにかんだ笑顔を見せる。少し慣れてきているようである。 ・理解に時間がかかるが、根気よく取り組む。 ・(+3)+(-7) = (?) ・(+3)+(-7) = -4

出席状況報告書

- ・月1回(月初めに)
- ・出席回数
- ・各教科の所見(学習担当者)



学校へ提出
